



ライフサイエンス分野の統合データベース整備の 第二段階のあり方について(報告)

(概 要)

平成 24 年 7 月

独立行政法人 科学技術振興機構

バイオサイエンスデータベースセンター運営委員会



ライフサイエンス分野の統合データベース整備の第二段階のあり方について(報告)(概要) その1

1. 第一段階(平成23年度～25年度)

ライフサイエンス分野のデータベース統合を進めることによってデータの価値を最大化することを目指し、平成23年4月にJSTにバイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)が設置された。

2. 第二段階(平成26年度以降)

- ①引き続きJST内の組織として更に充実強化を図り組織を編成していくこと
 - ②分野的に近い機関に移行すること
 - ③新たな機関を設置すること
- などの実現可能性について、総合科学技術会議の場において今後検討される予定

しかし、現在の国を取り巻く状況を踏まえると、

- ③については第二段階が始まる平成26年度までに実現可能な方策はなく、
- ②については、NBDCがスタートしてから3年で分野的に近い別の機関に移行することも困難である
- ①の形で引き続きJSTが引き受け、恒久化を図ることが、現時点では現実的な選択であると考えられる。

第一段階の体制
予算 約16億円、人数 約20名

総合科学技術会議の助言の下、オールジャパンでのデータベース統合を進める

- 1) 戦略の立案
- 2) ポータルサイトの構築・運用
- 3) データベース統合化基盤技術の研究開発
- 4) バイオ関連データベース統合化の推進

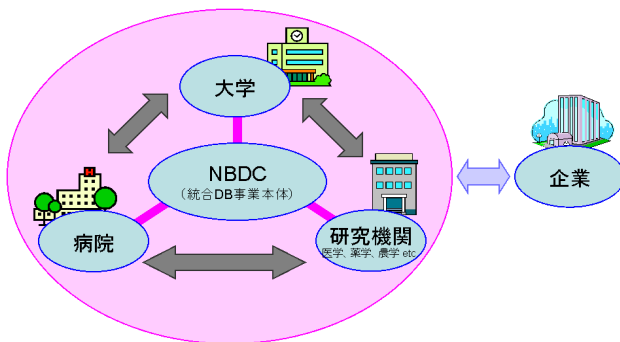
第二段階の体制
予算 約30億円 人数 約100名
JSTとROISIによる一体的運営

- 【新たな要因】
- ・ゲノムコホート研究への対応
 - ・ビッグデータへの対応
(次世代シーケンサ、イメージデータ...)

ライフサイエンス分野の統合データベース整備の第二段階のあり方について(報告)(概要) その2

3. バイオインフォマティクス分野の人材育成=我が国全体で取り組むべき課題

バイオインフォマティクス育成推進ネットワーク
・バイオインフォマティクス人材の育成
・バイオインフォマティクス人材の循環の促進

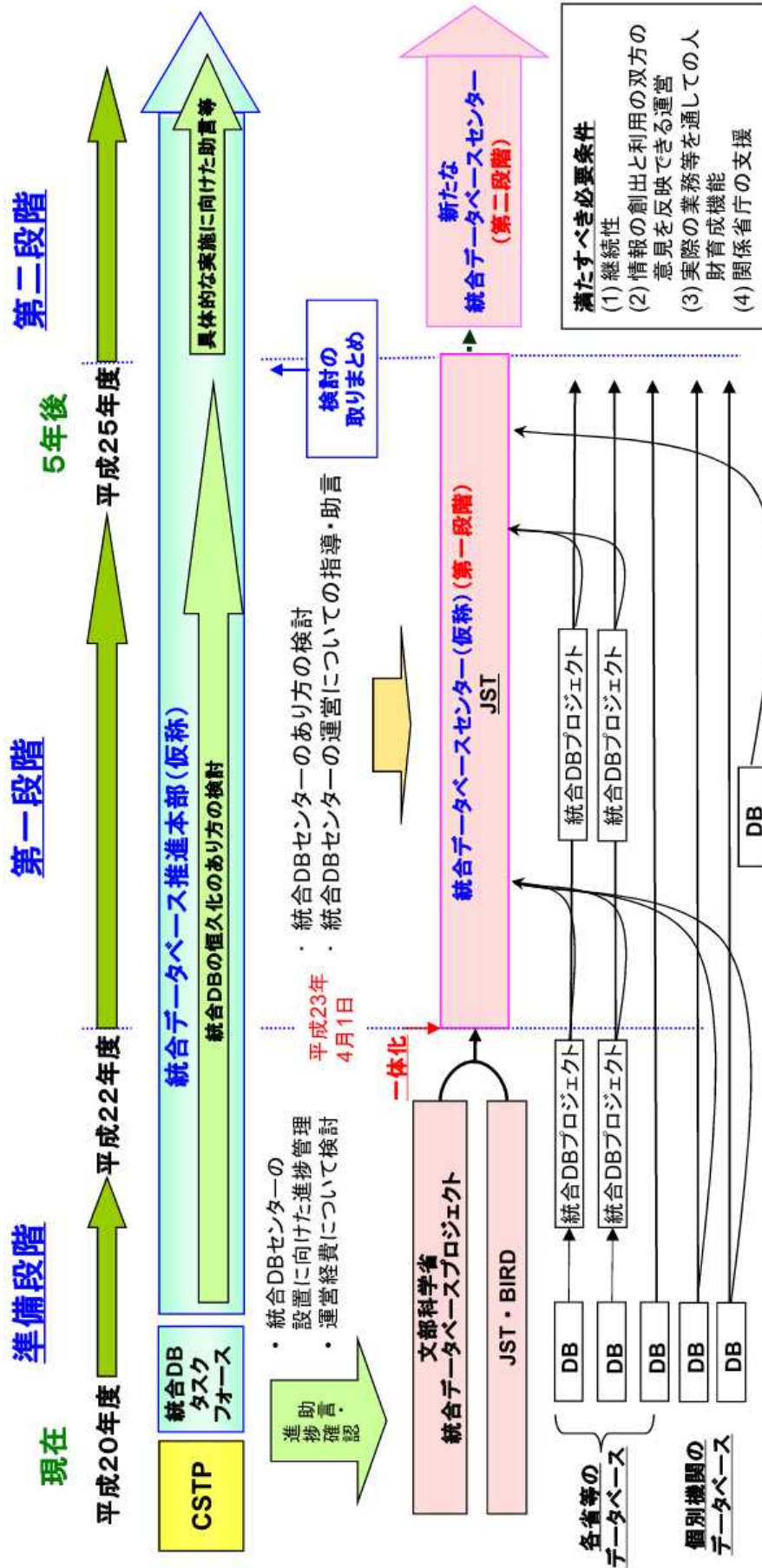


産学官共同で人材を育成していく仕組み

- ・ライフサイエンス分野のデータベースを活用するには、データベースの作成、ならびに利用の場においてバイオインフォマティクスが不可欠。
- ・バイオインフォマティクス育成推進ネットワークではNBDCがコアとなり、バイオインフォマティクス研究を行う大学や研究機関と共にバイオインフォマティクス育成推進ネットワークを形成する。
- ・「人材の育成」と「人材の循環の促進」の2つの機能を持つことにより、人材育成とキャリアパスの確立の2つを実現することを目指す。
- ・人材の育成では、情報科学の知識を持った人材が、医学、薬学、農学などの様々な知識を身につける、あるいは、逆に医学等の知識を持った人材が情報科学の知識を獲得することによって「π型人材」となり、それぞれの分野で活躍できるような教育システムを構築する。
- ・人材の循環の促進では、ネットワーク内で人材が一定年限毎に循環することにより、スキルを身につけ、経験を積み、大学、研究機関や企業などで管理職クラスのポジションにつけるような仕組みを立ち上げる。



統合データベース整備のロードマップ



「統合データベースタスクフォース報告書」(平成21年5月総合科学技術会議ライフサイエンスPT)より

NBDC 運営委員会 委員名簿

委員長

末松 誠 慶應義塾大学 医学部長

委員(五十音順)

春日 雅人 独立行政法人 国立国際医療研究センター 総長

金岡 昌治 大日本住友製薬株式会社
常務執行役員 研究本部長 兼 知的財産・IT企画
推進担当

久原 哲 国立大学法人 九州大学大学院
農学研究院 生命機能科学部門 教授

小原 雄治 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 理事
国立遺伝学研究所 所長

篠崎 和子 国立大学法人 東京大学大学院
農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 教授

城石 俊彦 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立遺伝学研究所 系統生物研究センター センター長
哺乳動物遺伝研究室 教授

大力 修 新日鉄ソリューションズ株式会社
フェロー (常務取締役待遇)

武田 英明 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授

松田 秀雄 国立大学法人 大阪大学大学院
情報科学研究科 バイオ情報工学専攻 教授

NBDC 運営委員会 開催実績

第1回 平成23年10月11日

第2回 平成23年12月5日

第3回 平成24年2月29日

第4回 平成24年5月11日

第5回 平成24年6月5日